

クリエイティブ京都^{MT}

Jan. 2007

01

No. 019

Management & Technology for Creative Kyoto

がんばる企業をサポートするビジネス情報誌

CONTENTS

平成19年 年頭のあいさつ	1 ▶ 2
特別寄稿	3 ▶ 4
京都ビジネスパートナー交流会2007	5 ▶ 6
創援隊交流会	7 ▶ 8
中小企業総合展報告	9
若者と中小企業とのネットワーク事業	10
産学公連携	11 ▶ 12
設備貸与制度	13 ▶ 14
受発注コーナー	15 ▶ 16
お客様相談室事例紹介	17
バイオ産業創成研究会	18
研究報告から	19
新規導入設備紹介	20
調査レポート～2007 景気見通し～	21 ▶ 22
行事予定表	23

京都府産業支援センター <http://kyoto-isc.jp/>

財団法人 京都産業21 京都府中小企業技術センター

成長へ イノベーションに挑戦

京都府産業支援センター会長 立石 義雄



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今年の干支は丁亥(ひのとい)。亥(イノシシ)は勢いがよく、勇気と躍進の象徴とされています。財団法人京都産業21と京都府中小企業技術センターの2つの組織のホールディングカンパニーのイメージで設置された京都府産業支援センターは3年目を迎えます。2つの組織による「経営」と「技術」の両面から中小企業の皆様へお役に立つサービスの一層の充実に取り組み、低成長下での景気拡大ではありますが景気に明るさが見えてきた好機を活かし、力強い成長につなぐ躍進の年にしたいと思います。

昨年、安倍内閣が発足しましたが、そのキーワードの一つはイノベーションです。イノベーションとはノーベル賞に代表されるような新たな先端的な科学や技術による社会への新しい価値の創造という側面もさることながら、既存の科学や

技術を融合的に活用して、誰もが使えるような機能、品質、コストなどを追求した商品やサービスを創造し、社会に新しい価値を創造する、「アプリケーション」におけるイノベーションという側面も重要であります。

科学技術創造立国を目指す日本の第三期科学技術基本計画の基本姿勢に掲げられている「社会・国民に支持され、成果を社会に還元する科学技術」を、私はそのように解釈するとともに、イノベーションの原動力は企業家が担っていくものと考えています。

また、安倍首相が就任直後に韓国、中国を訪問したことは、今後の日本の成長はアジアの成長とともにあることを実感させるものでした。急速に工業化の波に乗って成長するアジアですが、その一方では、環境、エネルギー、資源、産業廃棄物、安全、安心、健康、福祉、教育、人権など持続可能な人間社会を構築するための課題が顕在化しつつあります。その歩みは戦後の日本の歩みと重なるものです。一足先に経験で得た知恵を蓄積してきた日本企業には、アジアの新たな諸課題の解決に対しても自社の強みを活かしたイノベーションに挑戦し、貢献していく経営が求められます。それが、アジアの成長ダイナミズムを取り込み、アジアとともに成長するための鍵であり、京都企業にとっても中長期的な成長づくりにつながるものと考えています。

特に京都は、長い歴史の中で蓄積され、洗練された技術と人間性豊かな生活文化、また、大学、研究機関における新たな知の創造サイクルを有しており、アジアと日本の成長に貢献するイノベーションの創造が期待される有力な地域であると信じております。

京都府産業支援センターといたしましては、そのような京都の基盤を支える中小企業の皆様との接点を強みとして、京都府北部地域から「けいはんな学研都市」を含む南部地域にいたる京都の高いポテンシャルを活かして、昨年7月に発足した京都試作センター株式会社と連携した試作産業をはじめ、ケータイ、環境、ウェルネスなどを重点分野としたイノベーションの創出に取り組んでまいりたいと考えております。

皆様の一層のご理解とご利用をお願い申し上げますとともに、新年にあたり、皆様方の益々のご繁栄とご健勝を心から祈念いたします。

地域力再生元年…明日へ希望のもてる「京都」のために

京都府知事 山田 啓二



府民の皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年、多くの府民の皆様からご信託をいただき、再び府政の舵取りを担わせていただくこととなりました。本年も皆様からいただいた期待を胸に、全力を尽くして京都府政を推進してまいりますので、よろしくお願いいたします。

振り返りますと、昨年は、経済・雇用情勢に徐々に明るさが増してきた一年でしたが、その一方で、府内でも児童虐待により幼い命が失われるという事件が起きるなど、全国で子どもたちをめぐる痛ましい事件が続発した年でもありました。

京都府としては、事件の経過を徹底的に検証し、その反省の上に立って、二度とこのようなことがないように、全力を尽くす決意を新たにしております。

府政の基本は、何よりも府民の皆様の安心・安全の確保であり、その上に立って、誰もが明日に希望をもって暮らせる京都づくりをしていかなければなりません。そうした観点から昨年は、地域の安心・安全のために、府内の全小学校区で子ども・地域安全見守り隊の結成をお願いし、また、現場警察官や交番相談員を大幅に増員いたしました。さらに、都道府県では初めて、障害者自立支援のため独自の負担緩和策を講じるとともに、医師不足の進む府北部の病院に産婦人科医を派遣するなどの取組を進めてまいりました。こうした安心・安全のための施策に、多くの府民の皆様からご支援とご協力をいただき、改めて心より感謝を申し上げる次第です。

今、私たちの社会は安心・安全の問題をはじめ、教育や家庭の問題、中小企業や農林水産業の振興、環境の保全や文化の振興、地域間格差の問題など、解決しなければならない多くの課題を抱えています。とりわけ核家族化や少子高齢化の進行などを背景に、人と人との関係が希薄化し、人々が孤立化する中で、社会を支えてきた地域の力が衰えつつあり、貧富や地域間の格差の拡大がこうした傾向に拍車をかけ、温かく地域の人を見守る社会が失われつつあることが、何より心配されます。

それだけに、京都府としては、地域における信頼と絆の力を再生し、出来る限り人と人とのネットワークを強化し、京都のもつ産学公の力を結集することにより、誰もが明日に希望のもてる社会づくりに、これからも全力を挙げて取り組んでいきたいと思っております。

まさに今年を京都府の「地域力再生のための新たなスタートの年」と位置付け、市町村との連携のもと、積極的な施策の展開に努め、文化や環境など京都が古くから育んできた伝統を活かし、東京にはない京都の価値を広く内外に発信していきたいと思っております。

私たちは、北から南までこの豊かで実り多いふるさとに誇りを持ち、人と人との信頼と絆を強め、弱い立場にある人たちをしっかりと支えながら、「安心・安全、希望の京都」を府民の皆様と一緒につくり上げるため、本年も職員一同、全力を挙げて取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

結びに当たり、この一年の府民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

地域の視点から「新経済成長戦略」を考える

経済産業省の「新経済成長戦略」は一般に評判が良く、政府もイノベーションを軸とする新経済成長という方針でまとまっているようである。それが霞ヶ関、財界だけではなく、日本の多くの人々によって共有しうる思考になりうるのであれば、今後の日本経済は少なくとも2%を越える成長も可能となり、多くの難題を解決していく突破口も見えてくるであろう。

そういう楽観を述べると、ただちに、あれは総論であり、具体論が見えないという批判が聞こえてくる。また、その鎧の下には、かつての通産省が音頭をとって産業・企業を動員した古い型の産業政策が覗いており、日の丸型の政策が復活するのではないかという批判もある。しかし、私は現在すぐに具体論を問う必要はないと考える。むしろ必要なことは、思考を深めていくことである。というのは、真の不確実性の時代には、具体的な行動を導く判断の根底にあるものを論じ、各経済主体が状況の変化によってぶれない思考の「芯」を共有しうるのが肝要だからである。もちろん、問題の範囲が広いので、誰もが同じレベルの理解をもったり、共通の知識を保有したりすることは不可能であるが、それでも限定された知識のなかである種の共通認識をもつことが必要であり、それがまた現代の複雑な世界を対象とした知識共有のあり方（最近の経済学という限界合理性）でもある。

そこで、そのような意味での共通認識が可能かどうかの判断材料として、ひとつの問題提起を試みよう。「新経済成長戦略」では「高度な部品・材料産業や基盤産業をはじめとする『ものづくり』」が成長戦略の重要な柱になっている。本誌の読者層の多くの方々は、その種の「ものづくり」論にはご賛成であろうし、私もそうである。しかし成長戦略というからには、着地点においてわれわれの経済社会がどういう姿になっているかというイメージが必要である。確かに「新経済成長戦略」の本には、福祉問題とか少子化対策などを含めて、すべての問題が視野には入っている。しかし、それぞれの領域で「時間軸」における問題の焦点が異なるというプロセス論にまでは及んでいない。少子化対策などは50年後の問題に今から手を打たねばならないものであるのに対して、「ものづくり」は、既にほぼ骨格の出来ているシステムが将来どのように維持できるのかという問題である。問題の性質をもっと明瞭にするために、一つの表を引用してみよう。

次の表1は、数年前にノーベル経済学賞を受賞したロバート・フォーゲル教授（計量経済史）が作成した最近100年間に

る分野別の消費支出割合の変化であり、ここには実に驚くべき数字が示されている。すなわち、130年前の1875年には消費支出のうち衣・食・住に74%を使っていたのに対して、1995年にはその比率が僅か13%に下がっており、なんと消費支出の半分以上の68%を「余暇」（広義）のために使っているということである。



京都府特別参与 今井 賢一

表1 分野別消費と所得弾力性の長期的な傾向

消費の分類	消費割合 (%)		長期の所得弾力性
	1875	1995	
食料品	49	5	0.2
衣服	12	2	0.3
住居	13	6	0.7
健康	1	9	1.6
教育	1	5	1.6
雑費	6	7	1.1
余暇	18	68	1.5

備考:「余暇」の数値は余暇時間を金額換算したものである。

「健康」と「教育」には、政府と雇用主負担を含む。

出所:Robert Fogel, The Fourth Great Awakening and the Future of Egalitarianism, The University of Chicago Press, 2000.

ノーベル賞の權威に頼っているわけではないが、こういう計量的な問題提起が正しいとすると、「ものづくり」への需要は将来どうなっていくであろうか。余暇のためにも、また健康や教育のためにも「もの」は必要であり、「ものづくり」といっても物質的なものだけではなく、設計やソフトウェアが必要ではあるが、基本的には衣・食・住からのニーズが「もの」への需要を生み出すと考えざるをえない。少し大げさにフォーゲル教授流に言えば、われわれの先進国社会では物質的欲求は既に十分に満たされており、人々はここで余暇といわれている時間のなかで何らかの自己実現をもとめる新しい時代（教授のいう「第4の覚醒の時代」）に入りつつあるようである。そうであれば、その時代にあった「ものづくり」を構想していかない限り、「新経済成長戦略」が目指した着地点に到着したときには、過剰な「ものづくり」能力

を囲い込んでいるということになりかねない。

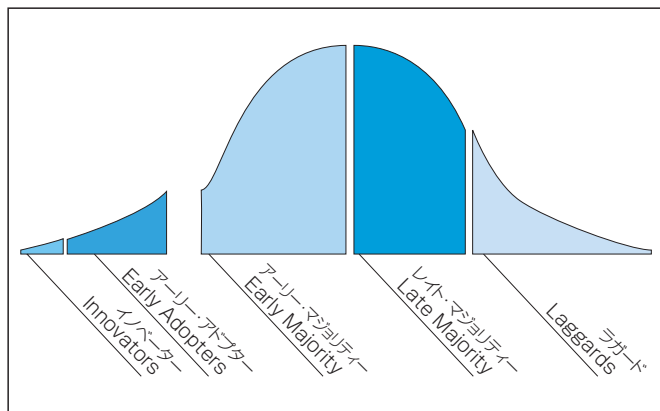
こういう問題を持ち出したのは、もちろん「ものづくり」重視に反対するためではない。むしろ、これから10年間は確実に日本にとって「比較優位」のある「ものづくり」に力点を置いて生産性を上げ、「新経済成長戦略」の目標をなんとしても実現していくべきだ。われわれにとって、それ以外の選択肢はありえないであろう。しかし、それは目標とする到達点ではない。日本という国が目指すべきところを見通せる尾根に辿り着くことなのである。当面の成長が出来ずに道を誤れば、われわれは将来驚くべき迷路に入り込むことになる。

本稿の初めに、具体論を性急に求めずに、まずは総論での合意が必要だといったのは、1例としてあげた以上のような議論も含めて議論を行い、批判とも共存しうるとなような共通認識を持つことの重要性を強調したかったからである。

そのことを前提として、具体論に入る際のポイントを考えてみたい。それには、ハイテクにおけるマーケティング論の傑作であるジェフリー・ムーアの「キャズム論」（深い溝の議論）を適用することが近道であろう。最初は、別種の問題ではないかと思われるかもしれないが、本質的な論理は同じなのである。

とりえず、何らかのハイテク製品、例えばあるソフトウェアの普及過程を念頭において図1を左からご覧いただきたい。

図1 「深い溝」をどう乗り越えるか



出所：ジェフリー・ムーア、川又政治訳『キャズム：ハイテクをブレイクさせる「超」マーケティング理論』翔泳社、2002。

まずは、その製品の「イノベーター」が登場し、彼らが自ら開発した製品を市場に持ち込む。次に、その製品の性能を評価した「アーリー・アダプター」が採用を決めてその製品をある程度まで普及させる。そして、その利用事例をみてマジョリティが購入しますが、それも積極的に使う「アーリー・マジョリティー」とやや遅れて使います「レイト・マジョリティー」とに区別される。最後に登場するのが「ラガード」で、これは遅れて追従していく層である。問題のポイントは、いま説明したそれぞれの層の間に「われめ」が存

在するのだが、二番目の「アーリー・アダプター」と三番目の「アーリー・マジョリティー」の間の「われめ」はきわめて大きいということである。キャズム論の著者ムーアはこの大きな「われめ」のことを「深い溝＝キャズム」と命名し、その溝をどう越えるかが、ハイテク・マーケティングのポイントだと考えるのである。そして、その理由の説明を容易にするために、「アーリー・アダプター」の人々を「別名：ビジョナリー」と呼び、「アーリー・マジョリティー」の人々を「別名：実利主義者」と呼んで、両者の性格の差異が深い溝を作り出すことを説得的に説明している。

ここまでくれば、つまり「ビジョナリー」と「実利主義者」という別名がでてくれば、われわれの問題、すなわち新経済成長論における総論と具体論の関係の問題に翻訳することは簡単である。すなわち、新経済成長論の原案は、経産省において、図1でいう「イノベーター」に相当する人々を書き、省内で合意をうるとともに、政界や財界のしかるべき人達、つまり「ビジョナリー」の賛成をえて、それらの人々の間では総論としての共通認識が出来つつあるといえるであろう。ところが、そこからさらに具体論に進もうとすると、「実利主義者」との意見の違いや対立が問題にならざるをえない。

両者の性質は明らかに違うのである。私の偏見ではないかという誤解のないように、ここではムーアの言葉をそのまま引用しておこう。「ビジョナリーは未来を体現しようとする人たちである。新しい技術の可能性をよく理解している。頭の回転の速い人と話すことを好み、産業界のありふれた話にはすぐに退屈してしまうタイプである。——それに反して、実利主義者は未来的なものにはあまり関心を示さない。彼らは現実を直視するタイプであり、自分たちの業界の発展をいつも考えている人たちである。」

「ビジョナリーは、自分たちのビジョンを具現化するためなら、システムを一からつくることもいとわず、このときシステムをつくるためのコンポーネントが手軽に入手できるなどとは思わない。逆に、実利主義者にとっては、それらがすべて揃っていないなら、ビジョナリーがメインストリームの慣行を無視してわが道を突き進んでいる姿を見ると、その危なさゆえに実利主義者は思わず身震いする」といった具合である。

もちろん、このムーアの表現は差異を誇張しすぎているかもしれない。私自身、普段はむしろビジョナリーの議論を好む。新しいことを考えるのが学者の役割だからである。しかし、この10年間における新成長戦略に関する限り、ほぼ見通しがついており、それが実現すれば確実に生産性が向上するイノベーションに努力を集中し、日本経済をとにかく成長軌道に乗せるべきだと考える。具体的な構想を考えなければならない地域の立場からいえば、そういう意味での実利主義者の視点から図1で示したキャズム（深い溝）を埋めて欲しいと切に願うものである。

「京都ビジネス交流フェア2007」開催のご案内

産・学・公が集う！ 京都最大規模のビジネスイベント

- **日時** 2007年2月22日(木)～23日(金) 10:00～17:00(23日は16:30終了)
- **会場** 国立京都国際会館 京都市左京区宝ヶ池(地下鉄「国際会館」下車) ● **入場** 無料
- **主催** 京都府 財団法人京都産業21
- **後援** 近畿経済産業局、京都市、京都商工会議所、(社)京都工業会、(社)京都経済同友会(予定)

中小企業展示コーナー 府内ものづくり中小企業による製品・技術、自社PR等の展示・商談会 出展者数:150社・グループ	イベントホール 両日開催10:00～17:00(23日は16:30終了) 市場開拓グループ TEL 075-315-8590
技術アライアンスコーナー 自社製品と品質向上(モデルチェンジ)、コスト削減、新商品の企画等のために新技術、新工法を求め他社との連携を模索するメーカーと、独自技術の開発等、優秀な技術を持ち提案型営業を得意とする中小企業とのマッチングの場を提供。	アネックスホール 両日開催11:00～16:00 市場開拓グループ TEL 075-315-8590
若者と中小企業とのネットワーク構築「プレゼン交流会」 中小企業の若手従業員の確保と若者の就職支援を図るため、若者と中小企業との出会いの場を創出。 対象:中小企業経営者(採用担当者を含む)、若手求職者、大学生等	Room D 両日開催13:30～16:30 経営改革推進グループ TEL 075-315-8848
きょうと連携交流ひろば2007 大学や金融機関、そしてすでに活動を始めた企業連携グループなどが集まり、展示やプレゼンテーションを通して新しい仲間を探しています。ぜひこの“連携交流ひろば”へお越しください、おもしろいテーマや仲間を見つけて、何か新しいプロジェクトと一緒に始めましょう。	Room E 両日開催10:00～17:00 (23日は16:30終了) 連携推進部 TEL 075-315-9425
京都“ぎじゅつ”フォーラム2007 *事前予約が必要です。定員150名 (1)平成18年度京都中小企業技術大賞 表彰式 (2)講演 テーマ 「多品種混流生産／瞬時切替プレスラインの開発」 講 師 株式会社エナミ精機 代表取締役 江波俊明氏	Room D 22日開催10:30～12:10 経営企画グループ TEL 075-315-8848
2007国際化セミナー *事前予約が必要です。定員120名 講演1 テーマ 「ベトナム経済の最近の動向と投資環境」(仮題) 講 師 ジェトロ本部海外調査部 課長代理 馬場雄一氏 講演2 テーマ 「タイの投資政策におよぼすEPA/FTAの影響について」 講 師 ジェトロ本部貿易投資相談センター アドバイザー 永井恒太氏	Room B1 22日開催13:30～15:30 ジェトロ京都デスク TEL 075-325-2075
京都試作フォーラム *事前予約が必要です。定員200名 (1)講演 テーマ 「世界の自動車開発拠点を目指した挑戦」 講 師 株式会社HIVEC(広島自動車デザイン開発会社) アドバイザー 田中昭文氏 (2)プレゼンテーション(京都試作のポテンシャル) ・京都試作センター事業について ・試作グループの紹介(6～7グループ予定)	Room B1 23日開催13:30～16:00 京都試作センター株式会社 TEL 075-316-2100

**誰でもつぎ合える機械ほど、
すごい技術が隠されている。**

ひとりひとりの人に、
機械のほうから合わせてくれる。
そんな、人と機械の関係。
センシング&コントロール技術で、
人と機械のベストマッチングを。





Sensing tomorrow™

[同時開催事業]

インキュベートのみやこ事業 府内インキュベート施設・入居企業の製品・技術展示等の連携・マッチングの場 主催:京都産学公連携機構、京都府、京都市	Room C2 両日開催10:00～17:00(23日は16:30終了) 京都府商工部産業支援室 TEL 075-414-4854
2007京都・ビジネスマーケットプレイス「企業価値向上セミナー」 *事前予約が必要です。定員200名 講演 テーマ「JAXAにおける品質確保の取組みについて」 ～H-IIAロケット 打ち上げ再開、そして高い信頼性を実現するために～ 講師 独立行政法人宇宙航空開発機構安全信頼性推進部 部長 長谷川秀夫氏	Room A 22日開催13:30～15:00 京都商工会議所 京都・ビジネスモデル推進センター TEL 075-212-6470

発注メーカー53社が参加!～技術アライアンスコーナー～

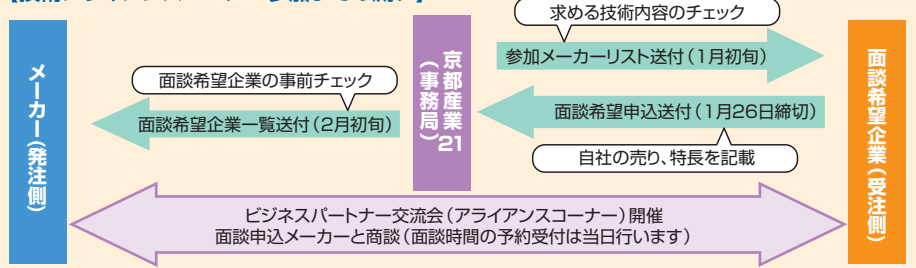
新たなビジネスパートナーを求め、京都府内外のメーカー53社が参加されます。大きなビジネスチャンスです。積極的なご参加を!

[参加メーカー一覧(50音順)]

愛三工業(株)(愛知県大府市)	京都バステック(株)(京都市)	ダイハツ工業(株)(大阪府池田市)	富士機械製造(株)(愛知県知立市)
アイシン・エイ・ダブリュ(株)(愛知県安城市)	(株)クボタ久宝寺事業センター(大阪府八尾市)	タイム技研(株)(愛知県大口町)	富士車輛(株)(滋賀県守山市)
アイシン精機(株)(愛知県刈谷市)	五大エンボディ(株)(京都市)	(株)太陽機械製作所(大阪府枚方市)	(株)不二鉄工所(大阪府交野市)
IDEC(株)(長岡京市)	湖北精工(株)(滋賀県長浜市)	太陽精機(株)(滋賀県高島市)	不二電機工業(株)(滋賀県草津市)
(株)イシダ(滋賀県栗東市)	三機商事(株)(名古屋市)	(株)タカトリ(奈良県橿原市)	富士電波工業(株)(大阪市)
岩谷瓦斯(株)(滋賀県守山市)	サンコール(株)(京都市)	TCM(株)滋賀工場(滋賀県近江八幡市)	ホンカワミクロン(株)(大阪府枚方市)
(株)オーハシテクニカ(大阪市)	(株)島津製作所(京都市)	TMTマシナリー(株)石山工場(大津市)	(株)堀場製作所(京都市)
(株)オプトン(愛知県瀬戸市)	シャープ(株)(大阪市)	東レ・プレジジョン(株)(大津市)	本間工業(株)(滋賀県栗東市)
オムロンヘルスケア(株)(京都市)	正保鉄工(株)(名古屋市)	トキワ精機(株)(滋賀県野洲市)	村田機械(株)(京都市)
(株)片岡製作所(京都市)	神鋼造機(株)(岐阜県大垣市)	(株)日本アルミ(滋賀県湖南市)	(株)村田製作所(長岡京市)
キャノンマシナリー(株)(滋賀県草津市)	星和電機(株)(城陽市)	日本インフォメーション(株)(愛知県豊田市)	ユアサ産業機器販売(株)(大阪市)
京都試作ネット(城陽市)	星和電機(株)樹脂製品社(城陽市)	バンダー化学(株)(神戸市)	(株)ユージン精機(京都市)
(株)京都製作所(京都市)	大日本スクリーン製造(株)(京都市)	(株)福井製作所(大阪府枚方市)	竜王村田(株)(滋賀県蒲生郡)



[技術アライアンスコーナー参加までの流れ]



[お申し込み・お問い合わせ先]

(財)京都産業21 事業推進部 市場開拓グループ

TEL:075-315-8590 FAX:075-323-5211
E-mail: market@ki21.jp

ベンチャー企業支援室のご案内

業務内容

- ベンチャーファンドによる株式投資やご融資を通じて、事業資金のサポートを行います。
- 公的機関・大学等との連携により、各種支援施策の有効活用や技術情報の収集などを回り、ベンチャー企業の成長をバックアップしていきます。
- 色々な分野の専門家や専門機関を活用し、経営相談やM&Aなど幅広いニーズにお応えします。



飾らない銀行
京都銀行

お問い合わせは
法人金融部

ベンチャー企業支援室 TEL.075(361)8600
京銀KRPベンチャーデスク TEL.075(315)9076

創援隊交流会 プレゼンテーション企業募集中!!

【創援隊は、京都府と京都産業21が結成を呼びかけた販路開拓を支援する専門家ネットワークです。】

京都府と京都産業21では、自社開発製品の販路開拓や技術等の売り込み先でお困りの地元ベンチャー・中小企業の方をサポートするため、創援隊交流会を開催し、参加する創援隊員のネットワークで、あなたの開発製品の販路開拓や技術の売り込をお手伝いをしています。

これまでに開催した創援隊交流会においても、企業からのプレゼンテーション、商品展示交流会の後、創援隊員からの技術や経営等積極的なアドバイスを受けると共に、創援隊員のネットワークによる売り込み先の紹介がありました。

現在、東京・京都両会場において開催する交流会への参加企業を募集しています。

あなたのお申し込みをお待ちしております。

※プレゼンテーション企業に対しては、専門家が事前にプレゼンテーションの指導を無料で実施します。

※創援隊交流会事業について「創援隊」のホームページ<http://www.ki21.jp/souentai/>をご覧ください。詳しくはお問い合わせ下さい。（お問い合わせは、お客様相談室:075-315-8660 担当:内田まで）

これからの「創援隊交流会」の予定

■平成18年度 第5回 創援隊交流会 東京会場

■開催日 平成19年1月31日(水) 14:00～

■場 所 泉ガーデンタワー7階(Room1・2)

■平成18年度 第6回 創援隊交流会 京都会場

■開催日 平成19年2月22日(木) 11:00～

■場 所 国立京都国際会館(Room-B2)

■平成18年度 第7(最終)回 創援隊交流会 東京会場

■開催日 平成19年3月15日(木) 14:00～

■場 所 泉ガーデンタワー7階(Room1・2)



THE KYOTO SHINKIN BANK

地域とともに コミュニティ・バンク

<http://www.kyoto-shinkin.co.jp/>

連携支援

京都信用金庫に連携支援部ができました。
中小企業がいろいろな得意な分野を相互補完することで、
大企業に負けない商品を生み出すのが「連携」です。

「こんな商品を作りたいけれど協力してくれる企業はない？」

「どこに販売したらいいの？」

「この商品のデザインを、若者に受けるデザインに変えたい。」

京都信用金庫の連携支援部は、このような新しい分野を切り開こうとする企業のために、協力できる中小企業や大学のパートナーを見つけます。

●現在、連携支援部では様々な分野で、連携・交流を進めています●

中小企業の「連携」に関する
ご相談をお待ちしています



京都信用金庫

連携支援部

京都市下京区四条通柳馬場東入
TEL(075)211-2111

これまでのプレゼン発表企業

※紹介件数は開催当日のもので、以降については調査予定です。

第1回 創援隊交流会

【6月29日:京都会場 於:新・都ホテル(京都市南区)】

- (株) マイクロリアクターシステム <http://www.c-mrs.com>
「シングルナノ金属超微粒子および応用製品」の販路開拓等のアドバイス支援
- (有) アクス京都 <http://www.acs-kyoto.com>
「ACS2000M型 簡易式濁水処理システム(モリンガ仕様)」の販路開拓及び取扱先の紹介
- タマヤ(株) <http://www.tamayakk.co.jp>
紙わざ多才、環境対応型新商品「フレッシュボックス」および「はかし太郎」の販路開拓等

総紹介件数 20件

第2回 創援隊交流会

【8月8日:京都会場 於:新・都ホテル(京都市南区)】

- (株) 東洋レーベル <http://www.toyolabel.co.jp/>
「TLアニバン(盛り上げ転写シール)」の販売ルートの開拓
- (株) ネットイン京都 <http://netin-kyoto.com/>
「共有型公衆ワイヤレスブロードバンド(WBB) サービス事業「ソラシド」設置連携先の獲得等
- マーフ工房 <http://maaff.com/>
「女性用見せるふんどし」の販路開拓等
- (株) セムテックエンジニアリング http://www.kuze.ne.jp/user/sem_tech/
「微細構造製品生産受託(エレクトロファインフォーミング加工)」による微細加工を必要としているお会社開拓

総紹介件数 8件

第3回 創援隊交流会

【10月27日:東京会場 於:泉ガーデンタワー(東京都港区)】

- タマヤ(株) <http://www.tamayakk.co.jp>
「フレッシュボックス」及び「はかし太郎」の販路・他業種紙素材活用先開拓
- 宮坂家具工芸(株) <http://www.miyasaka-zogan.co.jp/>
「KAORIGIウッドタタミ」の宣伝活動、販売店へのコンタクト、輸出関連先開拓
- (株) 秋江 <http://www.akie-net.com/index.html>
「秋江彩美術織」の販路・取扱先開拓
- (株) 加地 <http://www.kaji-web.co.jp/index.php>
「EXGEL(遅延回復粘弾性衝撃吸収材)」の販路・用途開発連携先開拓

総紹介件数 16件

第4回 創援隊交流会

【11月30日:京都会場 於:新・都ホテル(京都市南区)】

- (株) SOBAプロジェクト <http://www.soba-project.com>
「SOBA mieruka」の販路先開拓
ビジュアルコミュニケーション用のフレームワーク
- グローバルテック(株) <http://www.globally-tech.co.jp>
「AED(自動体外式除細動器)情報スタンド」の設置・販路先開拓
- Renbird(株) <http://renbird.jp/>
「ラックレンタル貸出し・ストリーミングレンタルサーバー」の設置先及び技術開発等ソリューション先開拓
- (株) 加地 <http://www.kaji-web.co.jp/index.php>
「EXGEL(遅延回復粘弾性衝撃吸収材)」の販路・用途開発連携先開拓

総紹介件数 2件

経験豊富な企業OBによるネットワーク集団



～創援隊隊員として、あなたの経験を活かし企業をバックアップしてみませんか？

京都府と京都産業21では、創援隊隊員を募集しております。中小・ベンチャー企業の開発製品・技術支援等創業期にある企業の“商品の芽”を見つけ、市場要求にマッチさせていこうという想いをお持ちの方で、すでに企業を退職され、これまでの豊富な経験を活かしていきたいとお考えのOBの方は、是非とも創援隊隊員に登録していただきたいと思います。詳しくはお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ先】

(財)京都産業21 お客様相談室

TEL:075-315-8660 FAX:075-315-9091
E-mail: okyaku@ki21.jp



中信

創業・新事業目指す法人・個人のみなさんを支援いたします

ベンチャーローン

《お使いみち》

- 研究開発資金、事業展開に必要な運転資金・設備資金
- 新事業開始にともなう起業家創業資金

中信ベンチャーローンにて対応可能な先

- 京都府知事より「中小企業創造活動促進法※」の認定を受けた方
- 京都府知事より「中小企業新事業活動促進法」「中小企業経営革新支援法※」の承認を受けた方
- 立命館大学より「研究契約書」の発行を受けた方
- 京都市ベンチャー企業目利き委員会よりAランクの認定を受けた方
- 財団法人京都市中小企業支援センターが実施する企業価値創出支援制度において“オスカー認定”を受けた方
- 以下のインキュベーション施設に入居の方
 - ・「京都大学連携型起業家育成施設(通称:京大桂ベンチャープラザ)」
 - ・「立命館大学連携型起業家育成施設(通称:立命館大学BKCインキュベータ)」
 - ・「京都新事業創出型事業施設(通称:クリエイション・コア京都御車)」
 - ・「同志社大学連携型起業家育成施設(通称:D-egg)」
 - ・「京都桂新事業創出型事業施設」
 - ・京都府けいはんなベンチャーセンター・インキュベートルーム
 - ・龍谷大学エクステンションセンター・レンタルラボ
 - ・京都工芸繊維大学インキュベーションセンター
- 上記の他、当金庫が将来性・成長性ありと認める方

※現在「中小企業創造活動促進法」および「中小企業経営革新支援法」に基づく認定・承認は、法律改正により行われていません。ただし、法律改正施行日の平成17年4月13日以前に知事の認定・承認を受けている方は、平成22年4月12日までの間、本ローンの対象となります。

- | | |
|----------|--|
| 1. ご融資金額 | ・一企業1億円以内(無担保扱いは2千万円以内) |
| 2. ご融資期間 | ・運転資金: 7年以内(元金据置2年以内可)
・設備資金: 10年以内(元金据置2年以内可) |
| 3. ご融資利率 | ・変動金利: 新長期プライムレート即時変動型 |
| 4. ご返済方法 | ・元金均等返済または元利均等返済 |
| 5. 担保 | ・担保もしくは保証協会保証必要。ただし、無担保扱いも可 |
| 6. 保証人 | ・法人: 代表者1名(無担保扱いの場合社内保証人1名追加要)
・個人: 法定相続人(無担保扱いの場合別途事業従事者1名要) |

※お申し込みの際には、当金庫所定の審査をさせていただきます。
審査結果によってはご希望にそえない場合がございますのでご了承ください。
※店頭にて「説明書」をご用意しています。金利情報・返済額の試算等詳しくは窓口またはフリーダイヤル(通話料無料)0120-201-959
(受付時間 9:00 ~ 17:00(当金庫の休業日は除きます))へお問い合わせください。



京都 中央信用金庫

中小企業総合展2006 in Tokyo閉幕

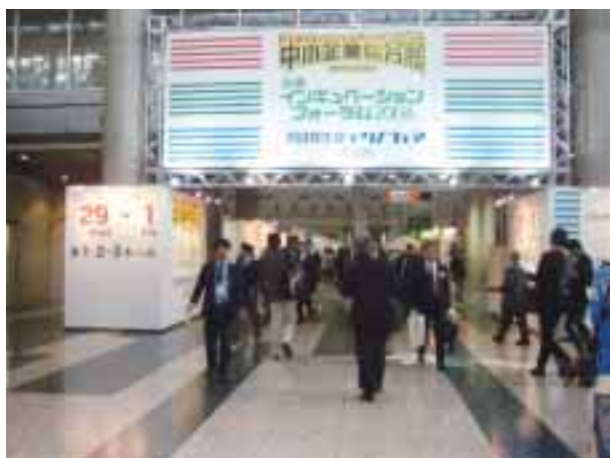
〈11月29日(水)～12月1日(金) 東京ビッグサイト〉

～首都圏で新製品・技術をPR～

全国から選りすぐられた中小企業が、自ら開発した新製品・新技術・新サービス・新商品を一堂に展示し、出会いとビジネスチャンスの拡大を図ることを目的に、11月29日(水)から12月1日(金)までの3日間、東京ビッグサイトにおいて、「中小企業総合展2006 in Tokyo」が開催されました。(主催:独立行政法人中小企業基盤整備機構 後援:財団法人京都産業21ほか)

総出展企業数は、540社・団体(680ブース)で、京都府からは当財団枠の6社((有)イーダブルシステム、栄進電機(株)、(株)加地、(株)小堀、(株)積進、(株)松菱製作所)をはじめ17社・1グループが出展し、自社製品や技術を積極的にPRしました。

入場者数は47,797名を数え、来場者との商談・交流はもとより、出展社相互の商談・交流も多数見られました。



【お問い合わせ先】

(財)京都産業21 事業推進部 市場開拓グループ

TEL:075-315-8590 FAX:075-323-5211
E-mail: market@ki21.jp



**TOSE
SOFTWARE**

地球のココロおどらせよう

ゲームソフトから

モバイルコンテンツまで

多彩なデジタルエンターテインメントを

創造し、広く社会に貢献します。

株式会社 トーセ

〒600-8091 京都市下京区東洞院通四条下ル
TEL.075-342-2525 FAX.075-342-2524

事業内容…◎ゲームソフト企画・開発 ◎モバイル・インターネット関連コンテンツ企画・開発・運営

グループ会社…株式会社ティーネット/東星軟件(上海)有限公司/東星軟件(杭州)有限公司/Tose Software USA, Inc.

ホームページ <http://www.tose.co.jp/>

〈証券コード4728、東証・大証一部上場〉

若者と中小企業とのネットワーク構築を推進中!!

～中小企業の皆様の若手従業員確保を支援します～

最近、景気は回復し、雇用情勢も改善傾向にあると言われていますが、若者の多くは就職先を考える場合に、まず最初に頭に浮かべるのは上場企業等の大手企業であると言われています。

このため、中小企業において若手従業員を確保するためには、大手企業等とは違う自社の魅力・強みや、若手求職者等が知りたいこと、聞きたいことを若手求職者等に対して明確に伝えていくことが大切です。

(財)京都産業21では、中小企業の人材確保における課題の解決を図るとともに、若者の効果的な就職支援を進めるため、「若者と中小企業とのネットワーク構築事業」(平成18年度新規、京都経営者協会受託事業)を京都府若年者就業支援センター(ジョブカフェ)と共に実施しています。 ※受講料は無料です(各コース定員20名 応募者多数の場合、抽選となります。)

本事業では、①若者の心を捉えるプレゼン力向上を図るため、「採用プレゼン」スキルアップセミナーの開催、②セミナー受講企業と若者の出会いを図るための「プレゼン交流会」等を実施しています。

中小企業の「採用プレゼン」スキルアップセミナーの開催状況		
コース	開催日程	セミナー会場
京都府南部コース	平成18年9月5日、19日、10月3日、17日	宇治市産業振興センター
第1回京都市内コース	平成18年9月8日、22日、10月6日、20日	ぱ・る・るプラザ
京都府北部コース	平成18年11月8日、22日、12月6日、13日	京都府立中丹勤労者福祉会館
第2回京都市内コース	平成18年11月10日、24日、12月8日、15日	京都府産業支援センター
第3回京都市内コース	平成19年1月16日、24日、2月8日、14日	京都テルサ
計	5コース	

「プレゼン交流会」の開催状況	
開催日程	プレゼン交流会場
平成18年10月23日、24日	京都テルサ
平成19年1月19日	京都府若年者就業支援センター北部センター ※見学歓迎!
平成19年2月22日、23日	国立京都国際会館 *「京都ビジネス交流フェア2007」併催事業 ※見学歓迎!
計	3回

【お問い合わせ先】

(財)京都産業21 事業推進部 市場開拓グループ

TEL:075-315-8590 FAX:075-323-5211
E-mail: market@ki21.jp

NISSIN

次代を築くクオリティ

私たち日進製作所は、創業以来60年にわたり、各種精密機械部品の製造を担ってきました。その歴史は更なるクオリティへの挑戦であり、過酷な条件下でも高い信頼性を今日まで守り続け、お客様が求めるニーズに対応すべく、獨創性・具現化・挑戦を続けております。

豊かな社会や未来といった次代を築くために、日進製作所はクオリティをもって貢献していきます。

ー 営業品目 ー

- ①自動車・オートバイのエンジン部品
- ②精密部品(工業用マシン部品)
- ③工作機械(堅型高速自動ホーニングマシン)



■ 超高精度穴加工機 セル型ホーニングマシン



■ ホンダ「オデッセイ」に搭載 バルブロッカーアーム



技術への挑戦は、人と未来のために
株式会社 日進製作所

「産学間の知的交流 ―新しい価値の発見と具体化―」

京都大学国際融合創造センター

産学連携の扉を叩く

産学連携を実施するにあたって、相手となる教員を探索するためにまず手がけなければならないのは、産学連携の目的の設定およびその明確化です。どんな課題を解決したいのか、産学連携を通して何をしたいのかという目的をはっきりさせる必要があります。目的がはっきりしており、さらに、その内容まで明確化されていれば、適任の教員を見出すことは容易であり、その教員が連携を引き受けてくれる場合、成功する確率が高いものとなります。しかし、相手教員が産学連携に意欲的かどうか、また意欲的な場合でもすでにライバル企業と連携しているかもしれない、あるいは、どのように接触したらいいのかわからないなど、いざ実行に移す際に戸惑ってしまうことも多いのではないのでしょうか。

また、実際には産学連携の意欲があっても、もうひとつ課題や目的が絞りきれないことも十分考えられます。このような場合、連携先として選んだ本学で行われている研究に接して考えるのもひとつの方法だと思います。具体的には本学の刊行物やパンフレット、インターネットのホームページをご覧になったり、「京都産業21」をはじめとする産学連携支援機関を通じて本学の研究に関する情報を収集されることをおすすめします。しかし、それによってもなお、目的や課題を明確にするのが困難な場合があるかもしれません。また、いくつかのテーマを準備したものの、さらにそこから絞り込むのに苦慮することなども十分考えられます。

このように、産学連携の扉を叩く際の状況はさまざまであると考えられます。本学では、これらのすべてに対応すべく、産学連携の窓口を国際融合創造センターに設けています。

京都大学国際融合創造センター

当センター（センター長：牧野圭祐教授）は文部省（現 文部科学省）が進めてきた「共同センター」の京都大学版として2001年4月に学内に設置されました。

当センター融合部門の主な活動は以下の5つです。

（1）包括的共同研究

特定の包括的テーマのもとに研究提案を学内公募し、複数研究室と複数異業種企業間などで大型の産学協同研究を企画・運営する

（2）技術相談窓口

企業の研究開発や事業展開上の相談に対応できる教員を学内検索し、有料コンサルティングや共同研究への発展を支援する

（3）産学協同研究コーディネート

教員からの依頼で教員とともに研究計画を作成し、企業にもち込む

（4）ベンチャー起業支援

外部専門家とともに教員のベンチャー起業を支援する

（5）京大IIOフェア

教員の研究や技術をショートプレゼンとポスターセッションで紹介する

以下、これらのうち「京都産業21」の活動と関係の深い「技術相談窓口」について、紹介させていただきます。

技術相談窓口

企業の方が窓口にくられてから目的を達成されるまでの道筋は一つではありません。相談内容が明確な場合、企業側のお考



人材派遣はパソナ。

- 人材派遣/請負
- 新卒派遣
- 人材紹介
- 再就職支援

ホームページ www.pasona-kyoto.co.jp/

株式会社パソナ京都

京都本社 TEL.075-241-4447
京都市下京区四条通堺町東北角四条KMビル4階
滋賀支店 TEL.077-565-7737
草津市大路1-15-5ネオオフィス草津

えを十分おうかがいして担当教員を選し、ただちに教員による技術相談が実施されます。その結果、未解明で重要な問題の存在が明らかになり、これが共同研究のテーマとして実施の合意が得られるものであれば、共同研究がスタートします。実際、当センターの支援活動の中から産学双方に有意義な共同研究が数多く実施されています。一方、相談内容が絞りきれない場合、テーマを明確化するためのディスカッションを行いつつ技術相談を行います。当センターではまた、「フリーディスカッション産学連携」という方式を用意しており、ここでは企業側の出席者数名と関連分野の本学の教員数名が一回数時間、数回にわたって企業から提起された問題に関する自由な討論を行います。その趣旨は産学間の知的交流を図り、あるいはそれを通して産学連携のテーマそのものを探ることにあります。産学連携への強い意欲をお持ちであるにも係わらず、具体策が絞りきれない企業にお勧めして好評を得ており、最近は中間製品の用途開拓や研究開発の方向性などもとりあげるようになってきました。

「フリーディスカッション産学連携」の進め方を図1に模式的に示します。まず、当センターの担当者が企業の問題意識や背景事情をお聞きすることから始まります。それをふまえて当センターで、なるべく互いに異分野の適任教員を探し、参加を折衝、諸般の手続きを経て適当な会場を選び開催します。例えば第1回目では企業が自社の沿革や事業、長期構想を教員に示し、引き続き討論を行います。第2回目には逆に教員が前回の討論を参考に、関連する専門的知見を発表し、さらに討論を重ねます。そして第3回目は、より深い質疑応答を含む総括的な討論を行います。言うまでもありませんが、教員企業双方に守秘義務が課されます。また、産学連携の課題が明確化した場合は、当センターが共同研究を調整し、まとめていきます。経費としては教員への謝金のほか、当センターの活動費相当額を別途頂戴いたします。教員の兼業申請の原案作成などは当センターで担当します。これまでの実施例では、それまで互いに知らなかった教員間の

やりとりの中で新規アイデアが着想されて企業が実施の検討に入ったことも、企業の積年の課題に見通しがついたこともありま

新しい大学像の提案

当センターは企業、大学双方の論理とニーズを理解できる専門家集団として、次世代産業基盤の構築や人的融合による新規学問領域の創成に貢献していくことを目指しています。産学連携の本質は産学間の深い知的交流に基づく新しい価値の発見であり、その具体化です。産学連携は「学術研究に基礎づけられた産業」を活発化することを通して世界をより知的にする可能性があります。産学という異分野相互の刺激によって生まれるものを柔軟に受けとめる仕組みの中で、新規産業分野、新規学問の立ち上がりも期待できるのではないのでしょうか。当センターでは今後とも実践を通して「大学の本来的使命は何か、直接的な社会貢献はどうあるべきか」を考え、新たな大学像を提案していきます。本学との産学連携を思い立たれたら、ご遠慮なく下記までご連絡ください。

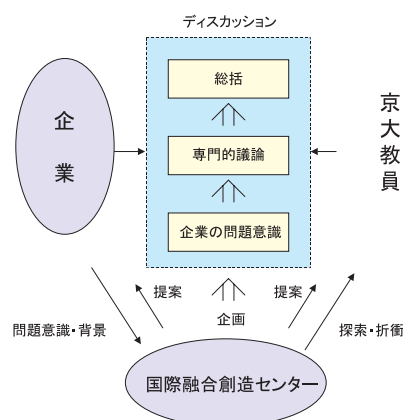


図1 フリーディスカッション産学連携

【お問い合わせ先】

京都大学
国際融合創造センター

吉田拠点 TEL:075-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学工学部四号館3階 321~324号室
TEL:075-753-9144 FAX:075-753-9145
桂拠点 TEL:075-8520 京都市西京区京都大学桂 京都大学ローム記念館
TEL:075-383-3030 FAX:075-383-3031
E-mail:iic-office@kyoto-u.ac.jp URL:http://www.iic.kyoto-u.ac.jp/

分析は、発見だ。

「分析」は、「発見」を生みだす。

「発見」は、また新たな「分析」と「発見」を生みだし

そのサイクルがやがて、新たな可能性を生みだす。

科学技術にかぎることではなく

あらゆる進化のプロセスには、いつも「分析」がある。

HORIBAは計測・分析機器の総合メーカー。

高度な技術が見つめる先には

いつも新しい未来がある。



ハイテクの一歩先に、いつも。

HORIBA
Explore the future

HORIBAの分析機器は、地球環境を分析したり新素材の開発や新エネルギーの研究などに、世界中で活躍しています。

株式会社 堀場製作所

〒601-8510
京都市南区吉祥院宮の東町2
TEL:075-313-8121

主要海外拠点 ④ フランス・ドイツ・オーストラリア・イギリス・韓国・中国・インド・タイ・シンガポール・カナダ・アメリカ・ブラジル

▶▶ <http://www.horiba.co.jp/>

京都産業21が設備投資を応援します！

連帯保証人は、原則1名で申込みを受付けします！

企業の方が必要な設備を導入しようとされる時、希望される設備を財団が代わってメーカーやディーラーから購入して、その設備を長期かつ低利で割賦販売またはリースする制度です。

詳しくは、設備導入支援グループまでお問い合わせください。

設備貸与制度を利用すると・・・

■信用保証協会の保証枠外、金融機関借入枠外で利用できるの、運転資金やその他の資金調達に余裕ができます！

■割賦損料率・リース料率は固定なので、安心して長期事業計画が立てられます！

区 分	割 賦	リ ー ス
対 象 企 業	原則、従業員20人以下（ただし、商業・サービス業等は、5名以下）の企業ですが、 最大50名以下の企業も利用可能です。 その場合、一定の制限がありますので詳しくはお問い合わせください。 [事業実績が1年未満の場合は、原則として商工会議所、商工会、商工会連合会の経営指導員による経営指導を6ヶ月以上受けていることが条件になります。]	
対 象 設 備	機械設備等（土地、建物、構築物、賃貸借用設備等は対象外） 新品に限りです。 リースの場合は、再販可能なものに限りです。（オーダー製品、構築物に付随するもの等は対象外）	
対象設備の金額 （消費税込）	事業実績が1年以上あれば100万円～6,000万円／年度まで利用可能です。 [事業実績が1年未満の場合は、50万円～3,000万円／年度]	
割 賦 期 間 及 び リ ー ス 期 間	7年以内（償還期間） （ただし、法定耐用年数以内）	3～7年 （法定耐用年数に応じて）
割 賦 損 料 率 及 び 月 額 リ ー ス 料 率	年2.50% （設備価格の10%の保証金が契約時に必要です）	3年2.990% 4年2.296% 5年1.868% 6年1.592% 7年1.390%
連 帯 保 証 人	■原則、法人企業の場合は、代表者1人（年齢が満70歳以上のときは、原則後継者を追加してください） 個人企業の場合は、申込者本人を除き1人でお申し込みいただけます。 ■なお、審査委員会で、追加連帯保証人・担保を求められることがあります。	
設 備 導 入 時 期	審査委員会は、原則月1回開催しています。 当月15日までに申し込みいただくと翌月の審査委員会に上程します。 お申し込みから設備導入日（契約日）まで約50日かかります。（お急ぎの場合は、ご相談ください）	

未来ってどうなっているんだろう？

空飛ぶ車、ロボット、飛び出す映画・・・

私たちの仕事は電子部品というタネを、
エレクトロニクスの世界に送り込むこと。

つまり、あなたが想像する豊かな未来を実現すること。

携帯電話、カーナビ、パソコン・・・

ほら、ちょっと前に想像していた未来が、

もう今は実現されているでしょう？

私たちの創る小さな部品は、未来の始まり。

小さな部品で、エレクトロニクスの世界に

たくさんの花を咲かせていきます。



未来を創る。
ムラタの部品が

Innovator in Electronics
muRata
村田製作所

株式会社村田製作所 本社：〒617-8555京都府長岡京市東神足1丁目10番1号 お問い合わせ先：広報部 phone:075-955-6786 <http://www.murata.co.jp/>

お客様の
声

金型設計・製作から量産品まで 精密プラスチックの一貫生産を推進



株式会社アクトリー
代表取締役 野坂 直人 氏

所在地 ● 京都府宇治市横島町千足37番地の1

TEL ● 0774-24-8507

FAX ● 0774-24-3650

URL ● <http://www.actry.co.jp/>

業 種 ● 自動車関連部品およびOA機器関連部品の製造
● ISO9001認証取得、ISO14001認証取得申請中

●事業内容や主な製品について

当社は、精密・超精密プラスチック部品を生産しています。金型の設計・製作から成形加工、各種検査まで一貫生産で多様なニーズにお応えしています。生産する部品は、手のひらに乗る大きさのものから20倍の顕微鏡で見ないとわからないようなものまであります。

製品はトヨタ自動車向けの車載パーツやOA機器の内蔵部品、医療分野を中心に高い信頼性を誇っています。

●会社設立時の苦労話など

今年で創業20年になりますが、私はアパレル業界からこのプラスチック業界へ転進したため、右も左も分からずいぶん遠回りをしましたが、その間にいろんな人のアドバイスや指導を受け、経営者として育てていただきました。現在も創業時のお客様との取引が続いています。その理由は、当社がQCDを満足させる製品を提供し続けてこられたからだと自負しています。

また、プラスチック業界は技術革新が激しく、金属製品の代替部品としてますます重要となっています。常に一歩先を視野にいたした発想や技術が不可欠になると考えています。

●設備貸与制度の活用について

今回の設備導入は、油圧式射出成型機・1軸NC制御取出口ロボットです。この機械メーカーとは以前から取引関係があり、当社の設備や機械について熟知してもらっていたので、設置・立ち上げもス

ムーズでした。また、財団には手続きを迅速に対応していただいたので、予定通りの導入となりました。

設備投資は事業の節目には不可欠なものであり、この制度の活用を経営戦略的に見えています。金融機関の方が有利なこともあります。銀行に資金枠を残しておくことも必要です。また、公共機関の制度を活用しているということは、当社の経営状況を十分に把握していただいた上で制度利用の判断がくだされますので、金融機関へも信用を与えていると考えています。

今後も、事業展開の節目になる設備投資は、この制度を活用していきたいと思っています。

●今後の事業展開と抱負について

現在、大手の医薬品メーカーの開発部門と新しいテーマに取り組んでいます。「試作」要素の強い短納期案件で当社の技術をさらに高い次元に引き上げる好機ととらえています。生産のリードタイムが、これまで自動車業界で経験してきたものの1/10からさらに短い案件になるため、ものの考え方ややり方が全く違います。このように高度な要求に応えなければならないテーマは、社内の「活性剤」として刺激を与えてくれます。要求が厳しいことが、次世代の技術者を育成していくことにつながります。そして、ここで培ったノウハウは量産品生産にも大きなプラス要因となります。

今後も、生産技術を追求していくと同時に、激しく変動する経済環境に柔軟に対応していけるよう情報のアンテナを張り巡らし、プラスチック・スペシャリストとしてお客様に満足していただける製品を提供し、社会に貢献していきたいと考えています。



【お申し込み・
お問い合わせ先】

(財)京都産業21 事業推進部 設備導入支援グループ

TEL:075-315-8591 FAX:075-323-5211
E-mail: setubi@ki21.jp



計る・包む・検査する

トータルソリューションのイシダ。

イシダは、計量技術を核に、生産から物流、流通などのあらゆる分野に、先進の技術と豊富な経験でお客様を総合的にサポート。確実なメリットをお約束します。



株式会社イシダ

■お問い合わせは

本 社／京都市左京区聖護院山王町44番地 〒606-8392 TEL. (075) 771-4141

<http://www.ishida.co.jp>

受発注あっせんについて

このコーナーについては、事業推進部 市場開拓グループまでお問い合わせください。

なお、あっせんを受けられた企業は、その結果についてご連絡ください。

市場開拓グループ TEL.075-315-8590

(本情報の有効期限は2月10日までとさせていただきます)

— 本コーナーに掲載をご希望の方は、上記市場開拓グループまでご連絡ください。掲載は無料です。 —

発注コーナー

業種 No.	発注品目	加工内容	地域 資本金 従業員	必要設備	数量	金額	希望地域	支払条件	運搬等・希望
機-1	精密小物部品(アルミ、SUS、鉄)	汎用旋盤・汎用フライス加工	京都市上京区 1000万円 34名	汎用旋盤・汎用フライス他	1~10/lot	話合い	近畿北陸希望	20日メ 翌20日支払、 全額現金	自社にて加工できる工場を希望、運搬話し合い、継続希望
機-2	自動化・省力化機械部品の切削加工・板金加工(アルミ、鉄、ステン等)		京都市南区 1000万円 15名	汎用・NCフライス、汎用・NC旋盤、MC等関連設備一式	多品種小ロット (1~100個)	話合い	近畿圏希望	月末日メ 翌月末日支払、 10万円超手形120日	運搬受注側、材料支給無し、継続取引希望
機-3	自動化機械のオートCADによる機械設計		京都市南区 1000万円 15名	オートCAD	話合い	話合い	不問	月末日メ 翌月末日支払、 10万円超手形120日	運搬受注側、継続取引希望
機-4	LPガス用バーナーキャップ(真鍮)	切削加工	大阪府守口市 4000万円 70名	関連設備一式	話合い	話合い	不問	20日メ 翌15日支払、 手形60%120日	運搬受注側、材料支給無し、継続取引希望
機-5	精密機械部品	切削加工	京都市南区 1000万円 30名	MC、NC旋盤、NCフライス盤他	話合い	話合い	不問	月末日メ 翌月末日支払、 全額現金	運搬受注側持ち、継続取引希望
機-6	精密小物部品	切削加工	京都市伏見区 500万円 18名	小物NC旋盤	10~30個	話合い	不問	月末日メ 翌月25日支払、 全額現金	運搬受注側持ち、材料支給有償、継続取引
織-1	ウェディングドレス	裁断~縫製~仕上(ミシン縫製)	京都市中京区 9600万円 130名	関連設備一式	10~50着/月	話合い	不問	25日メ 翌月10日支払、 全額現金	希望地域不問、(タン有り、運搬片持ち、継続取引希望、内職加工先持ち企業、特殊ミシン(メローガ付)可能企業を厳選
織-2	ウェディングドレス	裁断~縫製	京都市右京区 10億7159万円 230名	関連設備一式	10~50着/月	話合い	不問	月末日メ 翌月末日支払、 全額現金	継続取引希望、運搬発注側持ち
織-3	紳士Yシャツ	縫放し	京都市下京区 300万円 6名	関連設備一式	3~6枚/lot	話合い	京都市内近郊	月25日メ 当月末日支払、 全額現金	材料無償支給

受注コーナー

業種 No.	加工内容	主要加工 (生産) 品目	地域 資本金 従業員	主要設備	希望取引条件等	希望地域	備考
機-1	産業用ロボット・自動制御装置の設計~加工~組立~機械配線及び制御盤		京都府久御山町 300万円 6名	半自動溶接機、汎用フライス、2.5tフォークリフト	話合い	府内	運搬可能
機-2	MC・汎用フライスによる精密機械加工(アルミ、鉄、ステン、チタン他)	半導体関連装置部品、包装機等	京都市南区 300万円 5名	立型MC3台、汎用フライス4台、CAD/CAM1台、汎用旋盤1台他	試作品~量産品	京都・滋賀・大阪	運搬可能
機-3	精密金型設計製作、プレス加工(小物部品)中心に治工具、機械部品、板金加工等に入力しています。	半導体関連装置部品・電機部品の精密機械加工・精密金型設計製作(アルミ、ステン、鉄、銅他)	京都府久御山町 600万円 9名	縦型MC、フライス、成形平面研削盤、自動プレス(25~80t)、縦型スケールミル、タッピング、横型タッピングボール盤、投影機、CAD/CAM他	話合い	京都府内	経験30年、お客様のニーズを取り入れた金型の設計製作から金型の部品加工また機械加工においても全て内部で行い、お客様に提供しています。
機-4	産業用機械部品の小物MC加工(溶接対応可能)、アルミ・SUS・鉄他		京都市南区 600万円 1名	マシニングセンター、NC旋盤他	話合い	京都・滋賀・大阪	継続取引希望
機-5	液晶製造装置・産業用ロボット・省力化装置等精密部品の切削加工・溶接加工一式(アルミ・鉄・ステン・真鍮)		京都市南区 500万円 21名	汎用旋盤5台、NC旋盤3台、汎用フライス3台、MC6台、アルゴン溶接機5台他	単品~中ロット	不問	運搬可能、切削加工から真空機器部品のアルゴン溶接加工までできる。

機-6	金属部品の精密切削加工（AL、SUS、SSなど）		京丹後市弥栄町 3600万円 20名	NC旋盤、マシニングセンター各10台	中〜大ロット	不問	高品質、高い技術、豊かな人間性をモットーに、NC旋盤、マシニングセンターにより、車両・電機・機械など金属部品加工をしています
機-7	小物機械部品の旋盤加工、穴あけ加工		京都市山科区 個人 1名	旋盤6尺、卓上ボール盤	話合い	不問	継続取引希望
機-8	パーツ・フィード設計・製作	モートル式フィード製造	京都府宇治市 個人 1名	縦型フライス、ボール盤、メタルソー、半自動溶接、TIG溶接、コンタ、CAD、その他工作機械	話合い	不問	従来のフィードの問題点である騒音や多品種対応など、音の静かなワークにキズを付けないモートル式フィードの製造
機-9	電線・ケーブルの切断・圧着・圧接・ピン挿入、ソレノイド加工、シールド処理、半田付け、布線、組立、検査	ワイヤーハーネス、ケーブル、ソレノイド、電線、コネクタ、電子機器等の組立	京都市下京区 3000万円 80名	全自動圧着機（25台）、半自動圧着機（50台）、全自動圧接機（15台）、半自動圧接機（30台）、アブリケータ（400台）、導通チェッカー（45台）他	少ロット（試作品）〜大ロット（量産品）	不問	経験30年、国内及び海外に多数の出荷先を有する信頼感を持ち、お客様のニーズにお応えし、スピーディーな低コストかつ高品質な製品の提供を心がけております。海外向けに設備追加が可能
機-10	一般切削加工、ワイヤーカット加工	弱電部品のプレス金型設計製作	京都府亀岡市 個人 1名	ワイヤーカット放電加工機、立フライス盤、卓上ボール盤、成形研磨機他	話合い	不問	継続取引希望
機-11	ユニバーサル基板、ケース・BOX加工組立配線、装置間ケーブル製作、プリント基板修正改造		京都市伏見区 個人 1名	組立・加工・配線用工具、チェッカー他	単品試作品〜小ロット	府内	経験32年。性能・ノイズ対策を考えた組立、短納期に対応、各種電子応用機器組立経験豊富
機-12	プリント基板実装		京都市山科区 1名	ボール盤、自動半田付け装置、リードカッター、クリーンコート（間欠噴霧式スプレーフラクサ式）	話合い	不問	継続取引希望
機-13	金属製品塗装	粉体塗装 焼き付け塗装	京都府宇治市 1000万円 3名	塗装ブース3500×3000×3600、乾燥炉2340×2500×1800、粉体塗装機、ホイスト、フォークリフト他	話合い	京都府南部地域・滋賀県	経験33年
機-14	精密機械部品の研磨加工（手研磨）		京都府久御山町 300万円 1名	フラットラッピングマシン、半自動レンズ方式	話合い	不問	継続取引希望
軽-1	射出成型、直圧成型	電機、車輛、医療、精密機械、住宅等各種プラスチック	京都府久御山町 1000万円 6名	射出成型機（450t×1、300t×2、160t×2、75t×2、50t×1）、直圧成型機（100t×1、50t×2、37t×2、26t×1）	10〜、10,000〜	不問	多品種、少量生産、各種組立、特別管理産業廃棄物収集運搬
織-1	婦人服、ブラウス、ジャケット	裁断〜縫製〜仕上	京都府宇治市 1000万円 6名	本縫、オーバー他関連設備一式	話合い	話合い	継続取引希望
織-2	婦人スーツ、ワンピース、パンツ、ブラウス	縫放し	京都府京丹後市 個人 2名	本縫いミシン、オーバーロックミシン	話合い	話合い	継続取引希望
織-3	スカーフ等小物類	縫製	京都市上京区 1000万円 2名	本縫いミシン他	話合い	話合い	手縫いも加
他-1	事務系プログラムソフト及びシステム構築	経理システム、在庫管理、商品管理、生産管理等	京都府亀岡市 個人 2名	コンピューター他関連設備	話合い	不問	メカトロ・自動機設計製作据付立上げまで一貫して対応、構内委託可能
他-2	製品の広告、デザイン、販促、マーケティング等企画制作	パンフレット、カタログ、DM、会社案内、HP、広告企画	京都市中京区 1000万円 5名	コンピューター、レーザープリンタ、スキャナ、コピー他関連設備	話合い	不問	製品を顧客にうまくコミュニケーションするための広告デザイン&マーケティングをご提案します

ビジネスパートナーネットワーク

BPNet

BPNetをリニューアルいたしました。

Business Partner Network
ビジネスパートナーネットワーク

BPNet (ビジネスパートナーネットワーク) は京都産業21のホームページにおいて、**無料**でご利用いただける製造委託等に関する受発注情報提供システムです。

会員登録後、「仕事を依頼する(発注する)」、「仕事を求める(受注する)」、「得意&特異技術情報」等の新しい情報を自分で随時登録・更新していただけます。

また本システムは、開発に当たり、キーとなった業種・得意分野ごとに検索できますので、ニーズに合った企業・技術をお選びいただけます。

是非ともご利用いただき、新たなビジネスチャンスの創出にお役立てください。

会員登録はこちらから。 <http://www.ki21.jp/bpn/>
詳細は、ご利用規約をご覧ください。

BPNetのご利用条件

◎事業を営む個人または企業の方に限ります。

製造またはソフト開発等のモノ作りに関する事業者の方。〈事業実績は問いません〉

※ご不明な点など詳しくは下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

(財) 京都産業21 事業推進部 市場開拓グループ

TEL:075-315-8590 FAX:075-323-5211
E-mail:market@ki21.jp

相談事例:国際標準化の背景とISO規格・IEC規格

1. 18世紀半ばイギリスで起こった産業革命は変遷を経て、19世紀には先進諸国から漸次工業化社会に移って行きました。

従来の手工業製品と工業製品のもっとも大きな違いは、前者が一品一様であるのに対し、後者は複数品同一仕様が原則となります。すなわち、部品等は互換性が必要となり、規格(Standard、Specification)という概念が生まれました。そして更に発展し、工業製品が国境を越える交易の対象となると、「製品の品質、性能、安全性、試験方法など」に対する国際的な取り決めが必要になってきました。

その結果生まれたのが『国際標準(Global Standard)』という概念です。

国際市場において、相互理解、互換性保証、消費者利益の確保等を図りながら円滑な経済取引を行っていくために、国際標準化取組みは極めて重要視されています。

2. 国際標準化のために生まれた規格が「国際規格」であり、その代表的なものに“ISO規格”と“IEC規格”があります。

- ISO規格:国際標準化機構(International Organization for Standardization)が定める電気分野を除く全産業分野(鉱工業、農業、医薬品等)に関する国際規格
- IEC規格:国際電気標準会議(International Electrotechnical Commission)が定める電気及び電子分野に関する国際規格

ISOとIECとは密接な関係があり、協同で標準化に取り組まれている分野もあります。

また、品質管理や環境、安全などのISO規格は、電機産業も当然対象として適用されています。

3. ISO・IECの歴史

ISOの歴史は、長さ(m)、重量(kg)の国際単位を定めた『メートル条約』(1875年)が起源とされています。

1875年:メートル条約締結

1908年:国際電気標準会議(IEC)創立

1928年:万国規格統一協会(ISA)設立…ISOの前身

1947年:国際標準化機構(ISO)設立

4. その他の国際規格としては、WEEE、RoHS、REACHなどのEU(欧州連合)指令関係は、ISO14001規格等ISO関連の位置付けと考えられます。

また、国際規格ではありませんが、UL規格(米国の火災保険業組合格格)、FCC規格(通信、電信及び電波を管理する米国の連邦機関の規格)やDIN規格(ドイツ連邦規格)など広範囲で適用されている規格も数多くあり、必要に応じて要求元や関係団体などから情報を得て対処することが肝要です。



バイオ産業創成研究会の紹介

当研究会では、広い分野で利用されているバイオ技術に注目し、バイオ産業の育成を図ることを目的に講演会等を行っています。今回は昨年10月3日、京都府中小企業技術センターにおいて開催しました平成18年度第1回研究会の概要をご紹介します。

（講演）「食の問題と市民の意識について」

特定非営利活動法人けいはんな文化学術協会 理事長

大阪府立大学 名誉教授

高橋克忠 氏

平成16年の時点で50品目を越える遺伝子組換え食品の安全性審査が内閣府食品安全委員会に設けられた専門調査会によって終了していたにもかかわらず、表示が義務付けられている遺伝子組換え食品は製造販売されませんでした。これは言うまでもなく、消費者が不安を抱いたため、製造販売しようにもそれを買う人がいなかったためにほかありません。別の言い方をすれば、消費者は、遺伝子組換え食品の開発に携わり、所定の手続きに従い安全性を確かめた開発者（科学技術の専門家）を信用していないことを意味しています。

遺伝子組換え食品に限らず、科学技術情報に関して専門家と非専門家（市民）の間にある認識のギャップが、場合によってはパニックを引き起こすこともありえます。これは決して軽視してはならないことであり、科学技術が加速度的に展開するこれからの社会にあっては、専門家も非専門家も含め社会全体で情報を共有できると同時に、同じ用語や意識に立って語れる仕組みを考えていかなければならないと考えます。



<研究会風景>



<質疑応答風景>

（講演）「食品表示と遺伝子組換え食品の現状について」

独立行政法人農林水産消費技術センター神戸センター

消費技術部表示指導課 主任調査官

小林一博 氏

日本の食品表示制度は、大きく分けて「食品衛生法」、「農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律（JAS法）」、「景品表示法」の3つの法律により成り立っており、各法律ごとに規制対象が異なります。

食品表示の真正性確認の方法としては、食品が持つ特有の成分を科学的な測定手法によって分析を行い、確認を行う科学的検証と、製造者等が保有する記録、伝票等の書類や製造・流通実態の確認による社会的検証の2つの方法があります。

遺伝子組換え食品の安全性の審査は、内閣府に設置されている食品安全委員会において科学的に実施されており、平成18年10月3日現在、安全性審査の手続きを経た遺伝子組換え食品は、大豆、とうもろこし、じゃがいも、なたね、わた、てんさい、アルファルファの7作物76品種あります。

厚生労働省において安全性が確認された遺伝子組換え食品については、消費者の商品選択のための情報提供という観点から、食品衛生法及びJAS法により表示が義務付けられています。

※研究会の詳細はホームページ→<http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/sem/bio>をご覧ください。

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
応用技術室 食品・バイオ担当

TEL:075-315-8634 FAX:075-315-9497
E-mail:ouyou@mtc.pref.kyoto.lg.jp

人に優しい環境に優しい次世代医療材料の開発(I)

けいはんな分室 坂之上悦典

マグネシウム合金は大気中で使用できる金属類の中で最軽量(マグネシウム金属の密度: 1.74g/cm^3)であり、リサイクル性、電磁シールド特性、制振性の点から、パソコンやMD筐体に用いるなど射出成形材料としての利用が拡大してきています。しかし、電子機器向けとして付加価値の高い分野での一部使用に限定され、同じ軽量合金として使用されるアルミ合金と比べ耐食性や汎用的な加工性において問題があり、構造材としての用途拡大が少ないのが現状です。その中で、常温での加工安全性に優れるもの、ジュラルミンに劣らない高強度なものやアルミ合金に劣らない高耐食マグネシウム合金の開発などの報告が近年見られるようになってきています。

また、マグネシウム金属イオンは人体に対する金属イオンとしての摂取許容量が高く、軽量性の利点を最大限に生かし産業用に用いられるためには、鑄造用材料や機械加工用材料として加工上の特性を把握する必要があります。

そこで、京都府中小企業技術センターでは多種少量の試作産業を得意とする京都の産業界への展開を念頭において、マグネシウム合金を人体に直接触れる機会の多い義肢や歯科用材料などの医療福祉器具材料として使用することを目的に、鑄造、耐食性評価や機械加工を実施し、構造材に必要な特性について検討しました。

その結果、開発中のMg-Alベースの新合金について中性塩水噴霧試験を実施したところ、市販AZ31B合金以上の耐食性が得られる可能性を見いだすとともに、マグネシウム合金について切削加工を行い、機械加工性について一定の知見を得ることができました。

※鑄造試験に使用した遠心鑄造機:理学電機工業(株)(型式/MD-201)

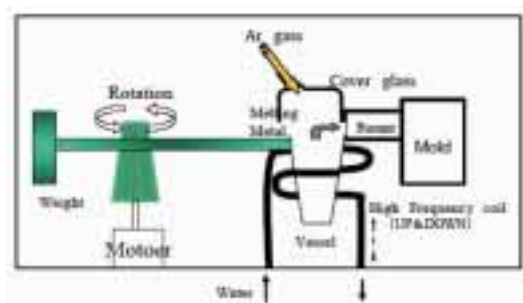


図1-1 機構の概略図



図1-2 鑄造金型を鑄造機に取り付けた状態



図1-3 鑄造試験片

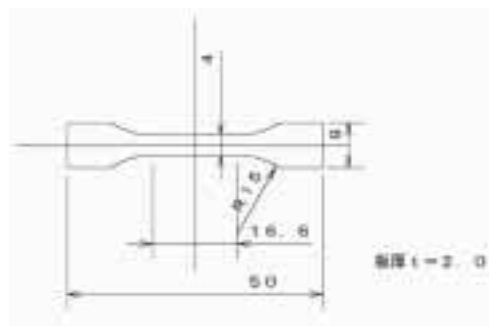


図2 機械的特性を調べるためにAZ31B(押出材)及び新合金で作成した試験片



図3 従来合金と開発中の合金の耐食性評価
(中性塩水噴霧試験 暴露時間:24時間 JISZ2731準拠)

※研究の詳細はホームページ→<http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/gihou/giho-34/giho34.htm>をご覧ください。

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
けいはんな分室

TEL:0774-95-5027 FAX:0774-98-2202
E-mail:keihanna@mtc.pref.kyoto.lg.jp

走査電子顕微鏡の紹介

京都府中小企業技術センターでは、中小企業が持つ「強み」を生かして力強く活動できるよう、技術開発等に関する支援を行うため、高度な試験・研究用機器を設置し、依頼試験と機器貸付を行っています。

本年度、日本自転車振興会から競輪の補助金を受け、走査電子顕微鏡を新しく導入しました。今後、企業の皆様に機器貸付や依頼試験等にご活用いただき、製品開発や品質管理にお役立ていただきますようご案内します。



機 器 名	走査電子顕微鏡 (JSM-6701F)
メーカー名	日本電子株式会社
仕 様	電子銃: 冷陰極電界放出形電子銃 二次電子像分解能: 1nm (15kV)、2.2nm (1kV) 反射電子像分解能: 3nm (15kV) 倍率: 25~650,000倍 加速電圧: 0.5~30kV 試料ステージ: 5軸モーター駆動ステージ X-Y: 70×50mm、回転: 360° 作動距離: 1.5~25mm、傾斜: -5~+60° 最大試料寸法: 150mmφ
用 途	各種材料の微細構造の高倍率観察 ・試料表面の凹凸や微細構造 ・微粒子の大きさや凝集度 ・部品の破断面や構造欠陥などの観察
利 用 料 金	依頼試験 二次電子・反射電子観察 1件 8,000円 (視野増し 1件 1,200円) 機器貸付 1時間 3,300円



※依頼試験と機器貸付についての具体的な申込み手順については
<http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/tec/req/>をご覧ください。

『走査電子顕微鏡』の講習会のご案内

- | | | |
|-----|---|--|
| 1 日 | 時 | 平成19年1月23日(火)
午前の部(午前10時から12時まで)
午後の部(午後1時30分から3時30分まで) |
| 2 会 | 場 | 当センター 3階 電子顕微鏡室 |
| 3 内 | 容 | 講師: 日本電子株式会社
走査電子顕微鏡の原理、装置紹介、事例紹介 |
| 4 定 | 員 | 各10名 |
| 5 参 | 加 | 無料 |
| 6 申 | 込 | 平成19年1月19日(金) |
| 7 申 | 込 | 当センター 技術支援部 基盤技術室 化学・環境担当
電話 075-315-8633 FAX 075-315-9497
E-mail kiban@mtc.pref.kyoto.lg.jp
申込書にご記入の上、郵送、FAX、E-mailで上記宛お申し込みください。
申込書はホームページ→ http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/tec/req/eve/070123 からダウンロードできます。 |

京都企業がみた2007年の景気動向と 経営見通し（調査レポート）

京都府中小企業技術センターでは、京都府内に本社を置く主要企業を対象に、「2007年の景気動向と企業の経営見通し」についてアンケート調査を実施し、結果を取りまとめましたので、その内容をご紹介します。

◆調査要領

- 調査対象 府内に本社を有する主要企業 2,087社
(回答企業 551社、回答率 26.4%)
- 実施機関 京都府中小企業技術センター
(実施時期 平成18年10月31日～11月10日)

◆調査結果の概要

1 京都企業が予測する2007年の景気

- 現状(2006年)の国内景気について、DI指数はプラス5.6であり、前回調査(▲7.0)(平成17年実施)の数値より改善している。(図1、図2)
- 2007年の景気見通しについては、上期(11.5)、下期(3.1)とDI指数がプラスを維持し、景気の動向への明るい見通しを持っている。(図3-1、図3-2)
- 全ての業種で明るい見通しを持っており、特にサービス業で高い値を示し、運輸・倉庫業も原油価格の落ち着きから明るい見通しである。
- 今後の景気動向に対する懸念材料として、「物価の動向」(47.0%)がトップで、次いで「労働市場の動向」(39.9%)に高い関心が示されている。(図4)

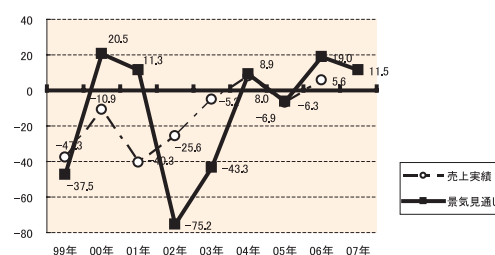
2 2007年の自社業績予想

- 2006年の業績は、大きく改善し、2007年も売上、利益とも巡航速度で進むものと見込まれている。(図5-1、図5-2)
- しかし、小規模企業では利益について厳しい見方となっている。
- 設備投資は増加傾向にあるものの、設備投資を行わない企業も2割を超える。(図6)
- 従業員の雇用については、増員傾向にあり、全ての業種で不足感が強いが、特に運輸・倉庫業、サービス業で不足感が強く、雇用環境は競争が激しくなりつつある。

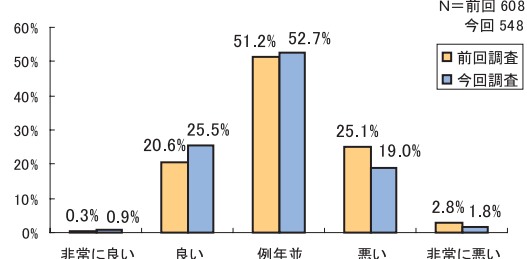
3 経営上の問題点

- 「競争激化」(55.5%)、「原材料・仕入価格上昇」(44.3%)、「人材不足」(44.3%)が上位を占めている。景気が回復し、人材の確保が大きな課題になってきている。
- 「各種規制の動向」、「情報セキュリティ等」、「M&A等」を今年より調査項目に追加したところ、まだ率は低いが、注目されていることが窺える。(図7)

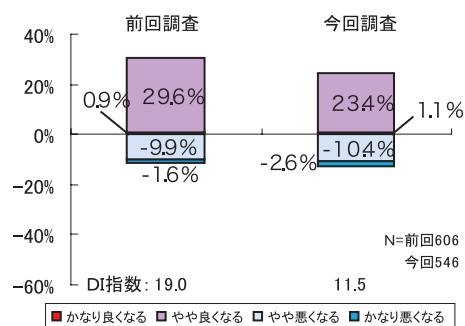
【図1 上半期の景気見通しDIと実際の売上実績DIの推移】



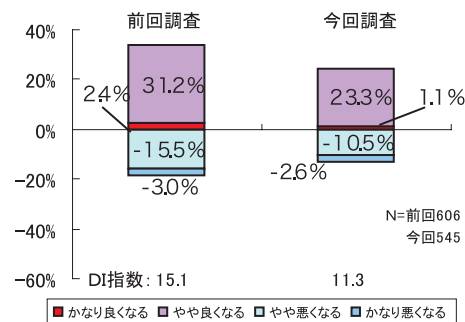
【図2 現在の景気判断】

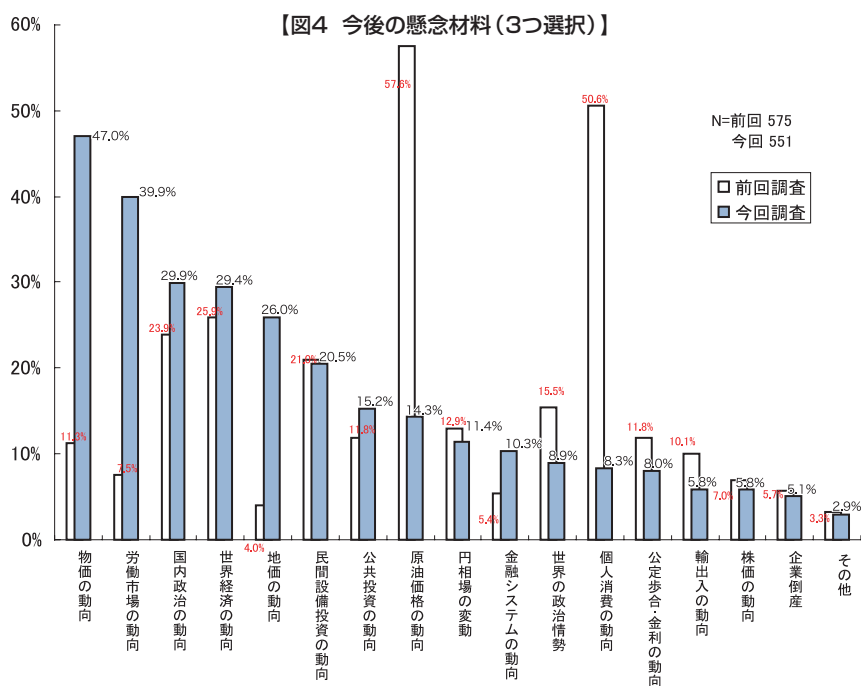


【図3-1 上半期の景気見通し】

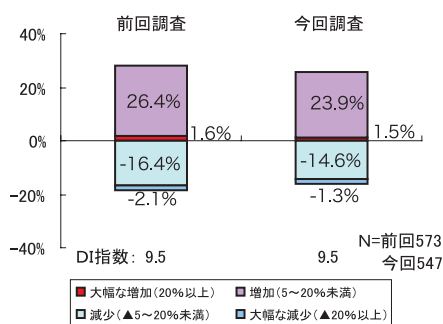


【図3-2 下半期の景気見通し】

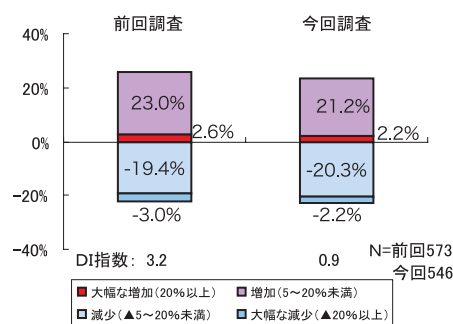




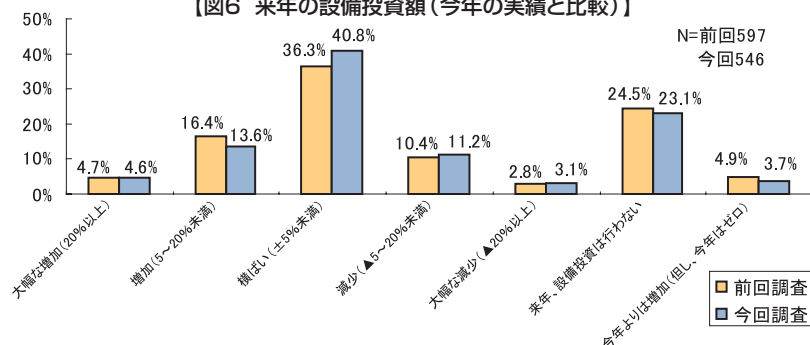
【図5-1 来年の売上見通しDI指数】



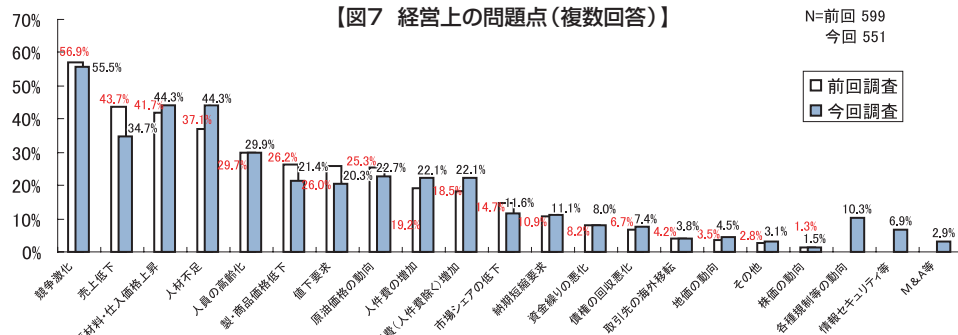
【図5-2 来年の経常利益見通しDI指数】



【図6 来年の設備投資額(今年の実績と比較)】



【図7 経営上の問題点(複数回答)】



※ 詳細は、<http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/inf/inv/pro/2007> に掲載しています。

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
企画情報室 情報・調査担当

TEL:075-315-9506 FAX:075-315-1551
E-mail:joho@mtc.pref.kyoto.lg.jp

行事予定表

Event Schedule

お問い合わせ先： ●財団法人 京都産業21 主催 ●京都府中小企業技術センター 主催

January 2007.1.

10 (水)	●電子・情報セミナー「電磁場解析シミュレーションの現状と今後の方向性」 時間：13:30～16:00 場所：京都府産業支援センター5F ●新春賀詞交歓会 時間：17:30～ 場所：リーガロイヤルホテル京都
11 (木)	●京都品質工学研究会 時間：13:10～16:40 場所：京都府産業支援センター5F ●Kyoohoo?! JFK (KIIC会員交流事業) 時間：18:30～ 場所：京都府産業支援センター2F
12 (金)	●新連携ビジネスプラン研究会 時間：15:00～17:00 場所：京都府産業支援センター2F
15 (月)	●ライフサイエンス研究会 (KIIC) 時間：15:00～17:00 場所：京都府産業支援センター2F
16 (火)	●第6回オープンソースソフトウェア研究会 時間：10:00～17:00 場所：京都府産業支援センター5F ●京の商いおうえん団 (要事前予約) 時間：13:00～16:00 場所：京都府産業支援センター1F ●中小企業の「採用プレゼン」スキルアップセミナー 時間：13:30～17:00 場所：京都テルサ
17 (水)	●人材育成倶楽部 (KIIC) 時間：15:00～17:00 場所：京都府産業支援センター2F ●夢現の会 (KIIC) 時間：18:30～21:00 場所：京都経済倶楽部
18 (木)	●環境関連法規講習会 時間：13:30～16:00 場所：京都府産業支援センター5F ●経営者向け新春セミナー ((社) 京都府情報産業協会との共催) 時間：16:00～17:30 場所：きょうと平安会館
19 (金)	●中小企業の「採用プレゼン」スキルアップセミナープレゼンの場 時間：14:30～16:30 場所：ジョブカフェ北部センター ●Kyoohoo?! JFK (KIIC) 時間：18:30～ 場所：京都府産業支援センター2F
22 (月)	●3次元CAD/CAM/CAE体験講習会 (CAD・ソリッド) 時間：13:30～16:00 場所：京都府産業支援センター1F
23 (火)	●「走査電子顕微鏡」講習会 時間：①10:00～12:00 ②13:30～15:30 場所：京都府産業支援センター3F ●京の商いおうえん団 (要事前予約) 時間：13:00～16:00 場所：京都府産業支援センター1F ●3次元CAD/CAM/CAE体験講習会 (CAD・サーフェス) 時間：13:30～16:00 場所：京都府産業支援センター1F
24 (水)	●中小企業の「採用プレゼン」スキルアップセミナー 時間：13:30～17:00 場所：京都テルサ ●3次元CAD/CAM/CAE体験講習会 (CAM・CaelumKKen) 時間：13:30～16:00 場所：京都府産業支援センター1F
25 (木)	●3次元CAD/CAM/CAE体験講習会 (CAM・WorkNC) 時間：13:30～16:00 場所：京都府産業支援センター1F ●第4回バイオ産業創成研究会 時間：13:30～16:00 場所：京都府産業支援センター5F ●e-ビジネス研究会 (KIIC) 時間：16:00～18:00 場所：京都府産業支援センター2F ●きょうとWEBショップ研究会 (KIIC) 時間：18:00～20:00 場所：京都府産業支援センター2F
26 (金)	●3次元CAD/CAM/CAE体験講習会 (CAE) 時間：13:30～16:00 場所：京都府産業支援センター1F ●第4回ものづくりベンチャー支援セミナー 時間：14:00～15:45 場所：京都府産業支援センター 5F

26 (金)	●新連携ビジネスプラン研究会 時間：15:00～17:00 場所：京都府産業支援センター2F
28 (日)	●南部地域創業支援セミナー 時間：9:30～17:00 場所：精華町商工会館
30 (火)	●京の商いおうえん団 (要事前予約) 時間：13:00～16:00 場所：京都府産業支援センター1F ●情報化プラザ/京都インターネット利用研究会例会「ITCはこう使え!～余計な力を使わないIT推進～」 時間：15:00～17:00 場所：京都府産業支援センター5F
31 (水)	●人材育成倶楽部 (KIIC) 時間：15:00～17:00 場所：京都府産業支援センター2F

February 2007.2.

1 (木)	●新連携ビジネスプラン研究会 時間：15:00～17:00 場所：京都府産業支援センター2F
2 (金)	●情報化プラザ/京都インターネット利用研究会例会「企業の情報管理・CSRセミナー」 時間：15:00～17:00 場所：京都府産業支援センター5F
5 (月)	●中堅社員研修 時間：9:00～17:00 場所：宇治市産業振興センター
6 (火)	●京の商いおうえん団 (要事前予約) 時間：13:00～16:00 場所：京都府産業支援センター1F
7 (水)	●あきんど講座 時間：14:00～16:00 場所：宇治市産業会館 ●プロモ倶楽部 (KIIC) 時間：16:00～18:00 場所：京都府産業支援センター2F
8 (木)	●京都品質工学研究会 時間：13:10～16:40 場所：京都府産業支援センター5F
9 (金)	●新連携ビジネスプラン研究会 時間：15:00～17:00 場所：京都府産業支援センター2F
13 (火)	●第7回オープンソースソフトウェア研究会 時間：10:00～17:00 場所：京都府産業支援センター5F ●京の商いおうえん団 (要事前予約) 時間：13:00～16:00 場所：京都府産業支援センター1F ●マーケティング研究会 (KIIC) 時間：16:00～18:00 場所：京都府産業支援センター2F
14 (水)	●京都陶磁器釉薬研究会 時間：15:00～16:30 場所：京都府産業支援センター5F ●Kyoohoo?! JFK (KIIC) 時間：18:30～ 場所：京都府産業支援センター2F
19 (月)	●ライフサイエンス研究会 (KIIC) 時間：15:00～17:00 場所：京都府産業支援センター2F
20 (火)	●京の商いおうえん団 (要事前予約) 時間：13:00～16:00 場所：京都府産業支援センター1F
22 (木)	●京都ビジネス交流フェア 時間：10:00～17:00 場所：国立京都国際会館
23 (金)	●京都ビジネス交流フェア 時間：10:00～16:30 場所：国立京都国際会館
27 (火)	●京の商いおうえん団 (要事前予約) 時間：13:00～16:00 場所：京都府産業支援センター1F ●e-ビジネス研究会 (KIIC) 時間：16:00～18:00 場所：京都府産業支援センター2F ●きょうとWEBショップ研究会 (KIIC) 時間：18:00～20:00 場所：京都府産業支援センター2F

専門家特別相談日

(毎週木曜日 13:00～16:00)

○申込は、事前に相談内容を(財)京都産業21 お客様相談室までご連絡ください。
TEL 075-315-8660 FAX 075-315-9091

取引適正化無料法律相談日

(毎月第二火曜日 13:30～16:00)

○申込は、事前に相談内容を(財)京都産業21 事業推進部 市場開拓グループまでご連絡ください。
TEL 075-315-8590 FAX 075-323-5211

海外ビジネス特別相談日

(毎週木曜日 13:00～17:00)

○申込は、事前に相談内容を(財)京都産業21 海外ビジネス・チャレンジネットワークまでご連絡ください。
TEL 075-325-2075 FAX 075-325-2075

— 知ろう 守ろう 考えよう みんなの人権! —

京都府産業支援センター

<http://kyoto-isc.jp/> 〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134

財団法人 京都産業21 <http://www.ki21.jp/>

代表 TEL 075-315-9234 FAX 075-315-9240
けいはんな支所 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7(けいはんなプラザ ラボ棟)
TEL 0774-95-5028 FAX 0774-98-2202
北部支所 〒627-0011 京都府京丹後市峰山町丹波139-1(京都府繊維・機械金属振興センター内)
TEL 0772-69-3675 FAX 0772-69-3880

編集協力/ショウワドウ・イープレス株式会社

京都府中小企業技術センター

<http://www.mtc.pref.kyoto.lg.jp/>

代表 TEL 075-315-2811 FAX 075-315-1551

けいはんな分室 〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7(けいはんなプラザ ラボ棟)
TEL 0774-95-5027 FAX 0774-98-2202

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています